

しょうやく 生薬

～自然からの恵み～

Natural Medicine -Gifts from Nature-

千葉県立中央博物館

×

薬屋のひとりごと
Kusuriya no Hitorigoto



これが、薬!?

資料はいずれも「旧千葉県薬園生薬標本コレクション」(当館所蔵)

令和8年

3.14(土) - 6.15(月)

県民の日

開館時間 9:00 ~ 16:30 (最終入場 16:00)

休館日 月曜日、5月7日(木) (ただし5月4日、6月15日は開館)

入場料 一般500円(400円) 高校生・大学生250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

※次の方は無料: 中学生以下・65歳以上の方(年齢を示すものをご提示ください)

障害者手帳をお持ちの方(手帳もしくは手帳アプリをご提示ください)及び介護者1名

※6月15日はどなたでも入場無料

千葉県立中央博物館

住所 〒260-8682 千葉県千葉市中央区青葉町955-2 (青葉の森公園内)

電話番号 043-265-3111 (代表)



特別協力: イマジカインフォス

協力: アリオ蘇我、大多喜町、京葉銀行、そごう千葉店、千葉銀行、千葉県病院薬剤師会、千葉県薬剤師会、千葉興業銀行、千葉市薬剤師会、千葉大学薬学部・環境健康フィールド科学センター、(株)千葉薬品、東邦大学薬学部、(株)常磐植物化学研究所・佐倉ハーブ園、日本生薬学会、日本大学薬学部、mitosaya株式会社

後援: 朝日新聞千葉総局、NHK千葉放送局、千葉テレビ、千葉日報社、ベイエフエム、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局

シリーズ累計発行部数
4500万部突破の人気書籍

薬屋のひとりごと

とのコラボ企画
入場者先着1万名様に
オリジナルしおりプレゼント!

お1人1枚、無くなり次第終了。
絵柄は右とは異なります。

ミュージアムショップで
オリジナルグッズも販売!



©日向夏/イマジカインフォス イラスト:しのとうこ

生薬は、動植物や鉱物などの天然物を加工して薬としたもので、古から伝わる知恵の宝庫です。
 中国の故事では、薬と農業をつかさどる神様、神農が薬草と毒草を見極めるため、赤い鞭（赭鞭）で百草を払い、これらの草をなめて薬効や毒性の有無を検証したと言われています。人は生きるために必要な薬を野山に求め、使用方法を探求してきました。

この展示では、旧千葉県薬草園生薬標本コレクションを中心に、「生薬ことはじめ」「自然からの恵み」など5つの章で構成し、生薬について紹介します。今も昔も、私たちの身近にある生薬。多様な生薬が語る、薬の物語をお楽しみください。小説『薬屋のひとりごと』の複製原画も展示します。



▲ 乳香※ ▲ 秋石※ ▲ 塩附子※ ▲ 「斧を以て熊の手を撃つ」(日本山海名産図会) ▲ 薬研

資料はいずれも当館所蔵。※印は「旧千葉県薬草園生薬標本コレクション」

トークショー 事前申込

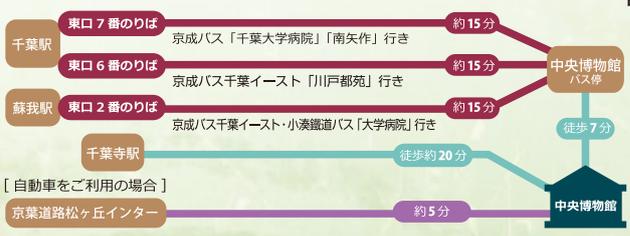
「毒と薬」 4.29(水)祝

大人気小説『薬屋のひとりごと』著者の日向夏先生と、植物の毒と薬のスペシャリスト山崎真巳教授（千葉大学薬学部）が異色のコラボ対談！人を惹きつける「毒と薬」について熱く語ります。



- トークショー 当日申込 5.10(日) 現代の薬屋のおしごと
- 観覧会 事前申込 3.22(日) 生態園で薬になる植物を観察しよう
- 事前申込 5.4(月) 日本大学薬学部薬用植物園見学会
- 事前申込 5.24(日) 佐倉ハーブ園見学会
- 講座 事前申込 5.31(日) 史料でたどる生薬の歴史
- 体験イベント 当日申込 3.15(日)・4.26(日) 薬になる生きものの缶バッジをつくろう
- 当日申込 4.12(日)・6.15(月) 薬研で入浴剤をつくろう
- 当日申込 5.3(日)・6.7(日) 生薬クイズ～いろんな生薬見てみよう～
- ミュージアムトーク 当日申込 会期中の毎週土曜日と、3.20(金)・4.5(日)

詳しいイベント情報はこちら



公式SNSで情報配信中